



自社構築した10MW級 風車用増速機負荷試験装置

- 本社所在地： 福岡県直方市上頓野4636-15
- 事業概要： 高精度歯車装置の開発・設計・製造、  
ならびに関連サービス、ソリューションの開発と提供
- 常時使用する従業員： 110人（2025年9月期）
- 現在の売上高： 34 億円（2025年9月期）
- 法人番号： 5290801014306
- Web： <https://www.ishibashi-mfg.com/>

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
石橋和彦

### 世のなかの「タイヘン」に挑み、かつてなく耀く明日を創りつぐ

石橋製作所は、ますます深刻化する社会課題という「タイヘン」に立ち向かうビジネスを構築し、その挑戦を通じて、企業としての成長と社員一人ひとりの貢献実感を高めていきます。さらに、成長の「見える化」を実現する人事評価制度を通じて、社員の成長実感と待遇改善を両立させ、「ココロ・ハズム・シゴトバ」として、社員がワクワクしながら、主体的にさらなる課題解決ビジネスを探求し続け、社員の物心両面の幸せと、顧客や社会への貢献を両立しながら追求する“公器”であり続けます。

私たちは、「①地球温暖化対策」「②国土強靱化（防災インフラの老朽化と対策）」「③基盤産業のサステナブル・トランスフォーメーション（SX）」「④未来産業グリップ」の4つのテーマにフォーカスし、モノづくりだけでなく、ISHIBASHI-X-CREATION HUBなる価値共創基盤を最大限活用し、単独では望めない社会課題解決に挑むべく、共創によるコトづくりやソリューション提供へと挑戦を広げていきます。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

現有リソースの高度化と適用範囲の拡大を三つの軸で推進し、2036年の100億達成に向け、3つの軸で年率10%程度の成長を目指す

第一に主力の歯車装置事業において、様々な環境変化を好機ととらえ、保有する各種生産・実証設備で適用領域を拡大すること。第二に、自社にてデジタル技術による生産性向上策を実装し成果を生むとともに、少子高齢化等の社会共通の課題解決を解決する事業構築を通じ成長基盤を構築すること。第三に、独創的な社会課題解決事業の創出を共創にて断行すること。

### 課題

四つの切り口における課題概要

- ①地球温暖化： 風車は部品単位での超大型化と風車国産メーカ不在の2大課題が存在。
- ②基盤産業SX： カーボンニュートラルという制約とその対応としての各分野での電動化、投資効率追求による生産設備の超大型化、物流制約の増大。
- ③国土強靱化： 雨水排水ポンプなど老朽化速度と予算との乖離。自社サービス人材の不足。災害復旧ビジネスの収益モデル構築の難易度の高さ。
- ④未来産業： 新規に誕生する或いは急速に伸びる産業分野の目利き力、人手不足や規制によりそのままでは持続困難な産業の転換の方向性の視界不明瞭さ。生産性革命を実現するMES, CPS, AI, CAMなどデジタルツールの低コスト成功モデル実現の難易度の高さ。

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

4つの切り口に共通するものは社会課題。この益々肥大化する社会課題を解決するビジネスを構築し、ビジネスも貢献と共に拡大させること。その手段として以下のアプローチをとる。

1. 歯車装置ビジネスにおける超大型化や新機構への対応力の強化
2. 国産風車メーカ不在によるSC衰退を防ぐ国や事業者からの様々な要請への対応
3. CNや電動化により変革する歯車装置と補修ビジネスの開発能力の強化
4. 製造における上流から下流工程までのDXを活用した生産性の極大化
5. 人材不足による保守・サービス力強化のための人材のネットワーク化
6. 防災力・復興力強化のための国土強靱化分野への対応力強化。
7. 上記をISHIBASHI-X-CREATION HUBを通じた他社との価値共創により加速化。

### 実施体制

デジタル技術を有する企業やベンチャー、大学や研究機関、各省庁、自治体をはじめとし、様々な当事者が集い、自社におけるレーザークラディングやトラッカー、五軸MCやCMMなど最新鋭の設備を活用し、新しい価値を創出するISHIBASHI-X-CREATION HUB（イシバシ・クロス・クリエーション・ハブ、2023年に設置）という枠組みを中心として、その事業創出に必要な知識・技術を保有する部門が横断的に集い、事業を実施する。

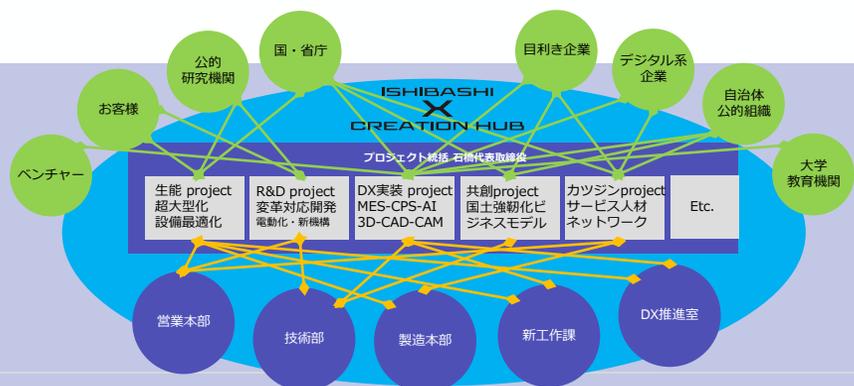
## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

下図は前項の三つの軸と四つの切り口、そして左のグラフに示す五つの事業の関係性を示したものです。これらは現状において想定しているもののみ記載しているもので、期間中これらに限らず新規性と希少性のある事業の構築を進めて行く。

### 四つの切り口 (課題)

	①地球温暖化	②基盤産業SX	③国土強靱化	④未来産業
三つの軸 (リソースとその展開)	エボゲネ補修ビジネス (持ち込み・可搬式)		B2G 災害復旧 促進ビジネス	Smart LIBRARY (仮称)
	WIP	お引き受け	B2C 防災システム Shadow/VariSphere	B/S
	カツジン			
独自のビジネス創出	CMS		REMOTE	低コストCPS
デジタルリソース化	再エネ 風力・地熱 バイオマス	多様化	非発	新機構歯車 (HP2・BL)
歯車装置事業の多様化	新エネ	CN化 電動化	排水ポンプ	
		ドラマティック ソリューション		

### 実施体制



### 五つの事業別売上計画と各施策

